

仮想サーバサービス利用規約

2009/04/01 施行

第1条 本規約について

- 本規約は仮想サーバサービス(以下本サービス)を提供、管理する情報処理センター(以下管理者)と、本サービスの利用者(以下利用者)の間に適用されます。
- 管理者は、円滑な運営のためや利用者の損益に関する事、その他の問題解決のため、本規約の施行、改定を行います。施行、改定日時や改定内容については本規約に記載されます。
- 利用者は京都教育大学に在籍する教職員および管理者が特別に認めた者としてします。

第2条 個人情報の取り扱い

- 本サービスによって公開されるコンテンツにおける個人情報の取り扱いについては、京都教育大学(以下本学)の個人情報保護方針に準拠します。
- 個人情報の取り扱いに関する責任は全て利用者へ帰属し、管理者はその責任を一切負いません。

第3条 著作物の使用

- 利用者は、本サービスによって利用する著作物の使用について、著作権法およびその関連法規を遵守するものとします。
- 著作物の使用に際して、その使用責任(法律違反に伴う罰則、その他法的手続きなど)は全て利用者へ帰属し、管理者はその責任を一切負いません。

第4条 ゲスト OS の取り扱い

- 利用者は VMware ESX Server 上で動作するゲスト OS (UNIX/Windows 他) のなかから希望するものを使用することができます。
- ゲスト OS にかかる費用は利用者が負担するものとします。
- ゲスト OS およびゲスト OS 上で動作するソフトウェアについてはアクセス数に応じた正規のライセンスを保有するものとします。保有しないライセンスの使用などによって生じた損害の責任は全て利用者へ帰属し、管理者はその責任を一切負いません。
- 仮想サーバのコンソールを直接操作することを特別の許可がある場合を除き禁止します。ゲスト OS のインストールなどの作業は管理者が行います。ただしゲスト OS 上で動作するアプリケーションについてはゲスト OS 動作後、利用者がリモートより作業を行いインストールするものとします。

- ゲスト OS の管理者用 ID およびパスワードについては管理者に通知するものとします。
- 管理者は、利用者に承諾を得ることなく、利用者によるゲスト OS の使用状況を監視、調査、設定の変更を行うことがあります。
- 利用者が禁止事項に反していると管理者が判断した場合、当該ゲスト OS の削除、アカウントの利用停止などの処置を行います。
- 利用者が以下の行為を行うことは一切禁止します。
 - 他の利用者の利用の妨げとなる高負荷のプログラムの設置・使用
 - 他の利用者を含む第三者のファイルなどにアクセスする、またはそれを改変する恐れのあるプログラムの設置・使用
 - 第三者が任意のコマンドを実行できる状態となっているプログラムの設置・使用
 - 外部からのアクセス（Web アクセスを除く）
 - 本学ネットワークのセキュリティを脅かす可能性のあるプログラムの設置・使用
 - その他管理者が不相当と判断するプログラムの設置・使用

第 5 条 禁則事項

- 利用者は 2、3、4 条に記載された禁止事項、禁則事項に加え、以下の事項について、その行為を行わないものとします。
 - 管理者、他の利用者、及び第三者の著作権などの権利を侵害する行為。
 - 管理者、他の利用者、及び第三者が何らかの不利益(損害、迷惑など)を被る行為。
 - 本サービスの運営に支障をきたす行為。
 - ハイパーリンクの見返りとして現金またはそれに相当する商品物品などを提供する行為。
 - 本学ネットワーク、及びそれに接続されたサーバやその他の設備に不正にアクセスを行う行為。
 - 他サイトから継続的に画像、各種データを呼び出す行為。
 - 適切な管理が行われていないとみなされる一切の行為。
 - その他管理者が不適切と判断する行為。
- 上記禁則事項に反しているかどうかは管理者の判断に委ねられるものとします。

第 6 条 是正措置

- 管理者は、利用者の使用しているゲスト OS が本規約に違反していると判断した場合、利用者に対して利用停止や修正要求などといった是正措置を行うことができるものとします。また利用者はただちに管理者の是正措置に従うものとします。
- 管理者は、利用者の使用しているゲスト OS や利用者の行為が本規約に違反していると判断した場合、利用者に了承を得ることなく、当該ゲスト OS の停止や削除、アカウントの凍結や削除を行い、以降一切の利用を禁止することができるものとします。

- 前項の措置に伴い当該利用者にかかる損害が生じたとしても、管理者はその責任を一切負いません。
- 是正措置は管理者の義務ではありません。是正措置を行わないことにより何らかの損害が発生した場合、管理者はその責任を一切負いません。

第7条 第三者が作成したコンテンツの管理責任

- 利用者が、その Web ページ上に掲示板など第三者による書き込みが可能な機能を設置している場合、利用者はその書き込み内容についても、その管理責任を追うものとし、利用者自身が設置したコンテンツと同様の制限を受けるものとします。

第8条 サービスの停止および廃止

- 本サービスは、天災や停電などの事故、システムの障害などにより突然停止することがあります。また、システムの保守などの理由で管理者が一時的にサービスを停止する場合があります。
- 管理者がサービスを停止する場合、通常はその旨及び停止日時、期間を利用者に事前に通知することとします。ただし緊急を要する場合はその限りではなく、管理者は予告なくサービスを停止することができるものとします。
- 管理者は本サービスの運用の継続が困難になった場合などに、利用者の了承を得ることなく本サービスを廃止することができます。
- 前三項の措置に伴い、利用者にかかる損害が生じたとしても、管理者はその責任を一切負いません。

第9条 データの保障

- 本サービスは利用者へサーバリソースを提供するものであり、利用者のデータを保管するものではありません。データの保障については各利用者の責任において行われることとします。
- 天災や停電などの事故、システムの障害などにより利用者のデータの一部または全てが消失した場合、管理者はその責任を一切負いません。
- 本サービスを廃止する場合、利用者のデータの保障に関して、管理者はその責任を一切負いません。

第10条 免責

- 本規約で特に規定されている項目を除き、利用者が本サービスの利用によって被った損害について、管理者はその責任を一切負いません。
- 本サービスの利用により、利用者相互、または第三者との間で紛争が生じた場合、当

該利用者が自己の費用と責任において解決するものとし、管理者はその責任を一切負いません。

- 本規約で定めるものの他に、本サービスの提供に際して、管理者が利用者に何らかの損害を与えた場合、管理者はその損害を賠償する責任を負いません。

第 11 条 サポートおよび質問

- 管理者は、利用者が本サービスを利用するにあたり一切のサポートを行わないものとします。
- 管理者は、コンピュータ・通信機器・通信ソフトその他技術的質問などに関してそれらを受け付けないものとします。
- 管理者は、利用者が第 4 条に記載されたゲスト OS 上で動作するプログラムについて、いかなる質問も受け付けないものとします。
- 管理者は、本サービスに関して利用者から電子メールで質問があった場合、前二項に当てはまらない限りこれに答えるものとします。

第 12 条 登録

- 本サービスの利用にあたっては、利用者は事前に登録を行う必要があります。登録にあたっては、管理者の定める必要事項を虚偽なく届け出るものとします。
- 利用者は、登録時に申請した内容に変更が生じた場合、速やかに管理者に変更を届け出るものとします。
- 管理者は届出の内容が適切でないと判断した利用者に対して、その申請を受諾しない、もしくは提供中のサービスを停止するなどの措置を行うことができます。また管理者は、利用者にその理由を開示する義務はないとします。